

### 3 評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>				
(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」を理念に利用者様本位に考え慌てず・ゆっくり・同じ目線で・笑いある方針を意識しながら関わっている。また、職員間で情報を共有し身体的・精神的安定につながる声かけを行っている。		
(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍で以降交流は途絶えている。		
	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ禍で途絶えている。		
(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通じて利用者状況や活動等を報告し意見などを聞きサービスに繋げている。		
(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を通じ事業所の状態を伝え要望なども伝えている。市町村担当者と連絡を取り協力関係を築くようにしている。		
(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的な研修や自己チェックにより禁止の対象となる行為への理解を深め常に自身を顧みることを心がけ、委員会等にて事例を共有し対応を協議することで介護者・被介護者ともに負担のない関係を築けるよう取り組んでいる。		
	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設け3か月に1度定期的に虐待に当たるケアがないか意見交換をしている。又、職員アンケートなどを行い虐待を見た、虐待に当たるのではなど確認を行っている。日頃から気になること等職員と共有している。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	後見人や保佐人の申し立てなどの機会があり学ぶことができる。要望により立ち合いや状況説明、個々の関係者と話し合い支援している。		
	○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際、家族等に説明を行い疑問や不安がないように十分に説明を行い理解、納得していただけるようにしている。		
(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族から意見や要望がある際は、職員と共有し出来ることを話し合い会議で検討し反映させている。		
(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	連絡窓口を周知し、定期的な面談やアンケートなどを行い、職員の意見に耳を傾け、必要な対応があれば随時対応を行っている。		
	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職場や職員個々の状況を把握することに努め、目標管理シートを使用し各々の目標を定めそれに向かってやりがいをもって働けるよう環境整備に努めている。		
	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の現場を把握し、適切な時期に必要な研修や資格試験を受ける機会を確保し、協力しあって全体的なスキルアップを目指す風土を作っている。オンラインや外部研修等の機会を作っている。		
	○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の会議への参加や電話連絡などにより異業種、同業他社との関わりの中で、自施設の果たす役割を意識し、地域の未来を考えたサービスを提供するためサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者の言葉を傾聴し、他職員にも共有することで、不安にならないケアを行うよう心掛けている。本人と話をしできることを一緒に言い関係づくりに努めている。		
	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望や困っているに寄り添い傾聴し不安が少なくなるよう出来ることを伝えている。面会時や電話の際、質問などあれば答えられるようにしている。		
	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントの際、必要としている支援を見極め対応に努めている。何が必要なのか会話の中からも探り対応できるよう努めている。		
	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の意思確認しながら身体的、精神面を考慮し業務を行っている。職員は、高圧的にならずゆっくりした口調で穏やかに接し出来ることはしていただくように努めている。利用者に対して尊敬の気持ちをもって接している。		
	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、普段の様子等つてている。毎月、生活の様子、松風だよりで様子を伝えている。家族様の要望あれば聞き、利用者様に必要な事柄などは電話連絡している。		
(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行事で外出等出来る範囲でなじみの場所に出かけている。		
	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を見ながら積に配慮しレクリエーションの時など席を移動し参加していただいている。職員が間に入り会話の内容を伝え関わりを持ち円滑に会話できるようにしている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了後は関係は保てていない。必要な書類記入など要望があれば相談や支援している。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	それぞれ利用者者の生活リズムに合わせた支援をしている、この時間はこれをするというような事はしていない。利用者本位で考え相談や検討している。		
	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や趣味などに合わせたレクリエーションを行っている。アセスメントでの情報を職員で共有している。		
	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	それぞれの過ごし方に合わせできる事はしていただいている。体調変化、様子、申し送りなどで現状を把握するように努めている。		
(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスなどで職員同士意見や支援方法など話し合い介護計画に反映している。又、日々の中で何かあれば勤務者が話し合い検討している。面会時等、家族からの意見や要望を聞き説明をしている。		
	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケースや支援経過に記入し申し送りノートを利用し職員間で情報を共有している。		
	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	一人ひとり利用者の状況の変化に沿いその都度、検討し柔軟に考え支援している。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ化で地域との関りが薄くなっているが、地域の会議や行事を通じて楽しめるよう支援している。		
(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	往診時、家族の希望等をかかりつけ医に相談している。かかりつけ医に状況など相談し必要であれば紹介にて専門医を受診するなど適切な医療を受けられるように支援している。		
	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	変更などあればその都度、看護師と情報を共有し必要であれば医師に伝え受診に繋げている。専門知識の交流を行い、利用者に必要な情報交換や共有する機会をもうける支援ができています。日々の生活の中での疑問点など相談し業務に生かしている。		
	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院の際、病院の相談人や連携室と連絡を取り合い状態や受け入れ可能など情報交換や相談や関係づくりに努めている。		
(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態を家族と共有し要望などをうかがっている。又、事業所での過ごし方や出来ることと医療に任せる方針など伝えている。		
	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時について研修を受けている。救急救命講習や心肺蘇生など研修をうけている。また、行事等で喉詰めの危険が予測される事態があれば研修やマニュアルを確認している。		
(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2階避難訓練を行い、夜間想定訓練も実践している。夜間一人での対応となった場合の話し合いをいつもしている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ひとり一人ADLや認知症のレベルに対しても尊厳やプライバシーを損なわない言葉かけを心がけている。穏やかな口調で話をうかがい話しかけている。普段から声かを気を付けている。		
	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	業務内容によりフロアを離れる際も利用者の情報を共有している。		
	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人に尋ねながら出来るだけ希望に沿うように心がけている。		
	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴前など準部の際、衣類や上着を選んでもらっている。衣類の破れなど縫い着て頂いている。		
(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日会など好きなメニューをお出している。又、好きな食べもの等お聞きし会話を楽しんでいる。行事の際、調理レクを行っている。		
	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体調に応じて食事形態を変更している。食事介助を受けている利用者も同様にその日のその日に合わせて自身摂取が可能かを観察している。		
	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを促し、介助や仕上げ磨きが必要な方は介助を行っている。歯科往診の際、指導を受けている。利用者一人ひとりに合わせたものを使いケアをしている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し時間に合わせトイレ誘導・ぱっとうかんを行っている。申し送りやカンファレンスで一人ひとりの排泄支援の検討を行い実践している。皮膚トラブルある際、利用者に対し情報を基に施設以内で対応可能な範囲で処置やアドバイ		
	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄の状態を把握し水分・運動・等工夫を行っている。看護的に関わり職員からの排泄日、量、形態を一人ひとり記録し状況等、情報をもとに腹部、一般状態の観察と共に必要に応じて敵弁・浣腸・腹部マッサージの施術や頓服の相談をうけている		
(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望に添えるように支援している。入浴を希望される際は、言われたタイミングで入浴出来るように支援している。入浴の声かけ、準備の際、今入浴されるか尋ねている。		
	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状態に応じて休息している。シーツ・枕カバーなど清潔なものを使用している。環境整備や習慣により安心した気持ちで休めるように支援している。		
	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容など理解し、その方にあった服薬方法で支援している、看護師に医師からの臨時指示で内服薬の変更などあった際、職員からの相談を受け、不安や行き違いの無いよう対応している。		
	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月に一度行事を行い普段とは違う雰囲気や楽しみなどで気分転換している。行事にあった食事提供や誕生日会の特別メニュー等工夫している。		
(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	行事で外出の機会を作っている。散歩や外気浴等も行っている。四季を外出することで感じて頂いている。		

外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金は家族の意向に従っている。買い物等支援しているが立て替えが基本となっている。		
	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される際は支援している。手紙が家族様より届くと本人に渡し希望があれば読み聞かし等支援している。		
(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月ディスプレイを変えて季節感を取り入れている。トイレやお風呂の表示をしている。		
	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	席に配慮したり、ソファや居室で過ごす時間を作っている。		
(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の方が持ってこられた写真など飾り居心地よく過ごせるように工夫している。		
	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレやお風呂など分かりやすく表示している。居室がわかるように表札を作っている。		



外部	項目	自己評価	外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3171100104		
法人名	株式会社兵庫福祉保健サービス		
事業所名	グループホーム松風の郷 浦富 2階		
所在地	鳥取県岩美郡岩美町浦富1418-2		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

「ゆっくり 一緒に 楽しく」の経営理念を基に、グループホーム松風の郷 浦富の理念として「あせらない 同じ目線で 笑いある」を掲げ、利用者様本位の支援に努めています。家族様や地域の方の繋がりを大切に職員一同アットホームな施設を目指し、一人一人のペースに合わせ楽しく過ごせるよう支援に努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	3171100104		
法人名	株式会社兵庫福祉保健サービス		
事業所名	グループホーム松風の郷 浦富 1階		
所在地	鳥取県岩美郡岩美町浦富1418-2		
自己評価作成日	令和6年1月31日	評価結果市町村受理日	令和6年3月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 いなば社会福祉評価サービス
所在地	鳥取県鳥取市湖山町東2丁目164
訪問調査日	令和6年2月14日

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

「ゆっくり 一緒に 楽しく」の経営理念を基に、グループホーム松風の郷 浦富の理念として「あせらない 同じ目線で 笑いある」を掲げ、利用者様本位の支援に努めています。家族様や地域の方の繋がりを大切に職員一同アットホームな施設を目指し、一人一人のペースに合わせ楽しく過ごせるよう支援に努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

一日の行動予定を立てず、利用者が思い思いに過ごすことができる松風の郷では、まさに事業所の理念である「ゆっくり 一緒に 楽しく」が実践されています。決して新しいとは言えない建物ですが、利用者の方々は穏やかに、そして職員の方はみな生き生きと働かれている様子が見え、とても住み心地の良い空間が保たれています。また、コロナ禍の中でも、地域密着型サービスの意義を踏まえ、近所の方と連携しながら畑作業や清掃活動等を無理なく行われています。当日も、ご近所の方からのお米やお野菜がどっさり届いていました。まちからも愛される施設なのを感じました。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		